

令和5年度  
学校関係者評価報告書

令和6年3月31日

学校法人すみれ学園

四国医療工学専門学校

## 1.学校関係者評価委員会

### 委員

- 北岡 加恵 委員 (株式会社 Yell Pharmacy 人財開発課長)  
松本 江身子 委員 (本校在校生保護者)  
(欠席) 村上 武 委員長 (高知大学医学部附属病院 医療技術部 副部長)  
(欠席) 米本 聖哲 委員 (医療法人 緑風会 海里マリン病院 事務次長)  
(欠席) 押岡 智雅 委員 (学校法人 みかづき学園 みかづき幼稚園 園長)

### 学校

- 内田 信式 (校長)  
清岡 鈴子 (医療情報学科長)  
吉田 拓矢 (臨床工学学科長)  
池田 藍 (事務課職員)

(計 6 名)

## 2.学校関係者評価の実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたり、学校関係者評価委員に本校作成の自己評価報告書の結果を説明し、各委員から評価結果についてのご意見をいただいた。各委員からいただいたご意見は、本報告書の中に取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に生かし、教育の向上に努めることとする。また本報告書はホームページにて評価結果を公表する。

## 3.学校関係者評価委員会 開催日時

令和 6 年 3 月 26 日 (火曜日) 10 時 00 分～11 時 00 分 本校 5 階基礎医学実習室

### 1.開 会

### 2.校長挨拶

### 3.出席者紹介

### 4.自己評価報告書説明

### 5.質疑応答

自己評価報告書について、質疑応答や改善点の提案等について意見交換 (別紙参照)

### 6.総 括

### 7.閉 会

別紙

令和 5 年度 学校関係者評価委員会 質疑応答・意見内容

| 発言者        | 質疑応答・意見内容  |
|------------|--|
| 欠席者 1 (書面) | <p>昨今、少子高齢化に伴い、貴学への入学者数も減少し、大変厳しい状況の中、教育に関する内容、環境等の向上に継続的に取り組まれている点について評価と敬意を表します。</p> <p>回答等は不要ですが、一点、コメントをさせていただきます。</p> <p>5-2-c の項目にて、対応できていないため「×」と自己評価されていますが、これについては、今後、貴学の方針として大学等との連携等について進めていかれるという理解でしょうか。もしそうでない場合、当該チェックシートが貴学独自で作成されているものかにもよりますが、項目内容に適合していないだけであるため、「×」「至っていない」という評価ではなくても良いのではないかと思います。</p> |
| 欠席者 2 (書面) | <p>各評価において、いずれも A 判定であり、また自己評価も適切とあると考えます。</p> <p>人口減少ならびに少子化の影響も有り、今後入学者数は減少傾向に進んでいくのでは・・・と考えています。</p> <p>特に医療事務においては、現場のニーズはあるものの給与とのバランスが悪く、今後の学生獲得への活動を期待しております。</p>   |
| 欠席者 3 (書面) | <p>丁寧に学校評価に取り組まれており、実現の可否をしっかりと自己評価して改善につとめている姿が見受けられます。令和 5 年度の自己評価達成状況が、すべての大項目で A 評価となっており、日々教職員の方々が一丸となって組織運営をされている事がわかります。</p>  |
| 発言 1       | <p>子供から毎日いろいろ学校の話は聞いており、評価と一致していると感じています。今回、県内の病院での学生アルバイトの話があったかと思うのですが、その報告、連絡、相談が学校と生徒との間でうまくいっていないと感じました。それから話が全然進まず履歴書の話も全然こなかった記憶があります。実際に面接をしますという日付を切られたのが、あと 2 日後とかで慌てて履歴書を書いたイメージがあります。間の連絡がなくて子供たちも不安だったのかと感じます。もう少し事前に説明が欲しかったと思って</p>   |

|              |  |
|--------------|--|
| <p>吉田学科長</p> | <p>いたところでは。</p> <p>ここ何年かで本校と先方の病院との関係はかなり密になってきておりました。今回、先方より、ただの実習という形ではなくて、アルバイトという形で実際に学生に業務をさせられないか、というご提案をいただきました。双方にとっても新しい取り組みとして、この話を進めてまいりました。</p> <p>その後、この件についての話が止まっていた時期があり、連絡を密に取れなかったのは、本校側にも抜かりがございました。急遽バタバタするような形でご案内となってしまうことは、先方からも謝罪の言葉をいただいております。</p> <p>今年度に関しましては試験的にやっているところもございまして、ご迷惑をおかけいたしました。これで最初の取っ掛かりができましたので、次年度はよりスムーズに実施できるかと思っております。今年度に関しましては、本当にご迷惑をおかけしました。</p>              |
| <p>発言 2</p>  | <p>この取り組みですごくいいと思ったのが、先方の病院の方とアルバイトをする学生たちが LINE を組んでいて、向こうの方が投げたことを学生たちがすごく考えて送り合っていました。「あの子はこう言ったが、私はこう思う」とか、意見の交換ができていました。1年生と2年生ですよね。学生たちの絆が見えました。</p>   |
| <p>吉田学科長</p> | <p>学生ということもあり、担当者の方から連絡手段に LINE を使いたいというご要望がありました。本校も学生への連絡用に LINE を活用しています。今回のアルバイトでは、本校の LINE と先方の LINE と学生アルバイトのグループが繋がっており、学生が今何をやっているか、病院側が今どういうことをやっているのか、そういったものが見られるように連携を取っております。先方も、この取り組みを通じて、未来の臨床工学技士の教育をしていきたいという思いもあるようでして、アルバイトを通じて仕事をしていくことや、病院で働くとはどういうことなのかを伝えているようです。学生の中でリーダーシップをとれる子にいろいろお願いしながら、どうやったら仕事を進めていくことが出来るのか、OJT に近いようなことも取り組んでもらっているようです。そこまで熱心にしていただいていることに、我々も大変ありがたく感じています。</p> |

|              |  |
|--------------|--|
| <p>発言 3</p>  | <p>今回、こちらの病院に子供が実習に行くのですが、アルバイトとは何が違うのですか。</p>   |
| <p>吉田学科長</p> | <p>多分全く違うと思います。アルバイトの内容は細かいところまでわかりませんが、臨床実習はあくまでもカリキュラムに則ってやるものですから、実習項目も決まっています。今回の病院ですとメインは手術室と機器管理室になります。機器管理の業務に関しましては今のアルバイトでの取り組みに通じるものがあるかと思えます。しかし、手術室に関しましては、実習として学ぶ内容がございますので、そういったところは変わってくるかと思えます。臨床実習として学ばないといけないことが幅広くあると思えますので、アルバイト業務にないことも実習でやっていただけるかと思えます。</p> |
| <p>発言 4</p>  | <p>私の子供のことですが、病気で授業が受けられなくなった時とかに女性の先生や、担任の先生に協力してもらい、授業を抜け出させてもらったり、休ませてもらったりしながら、何とか自分の夢に向かって頑張ることができています。学校に通えることに感謝して、全部学校にお任せできているので、すごく感謝しています。今日、子供にも「学校関係者評価委員会に出席するけど何かないか」と聞きましたが、満足して通えているようでした。ありがとうございます。</p>   |
| <p>吉田学科長</p> | <p>臨床工学学科にも女性の教員を入れたいということを経長の内田も常々言っておりました。今回ご縁がありまして、本校の卒業生に入っていただくことができました。より綿密に学生のサポートができる環境になってきているのではと思っております。</p>   |
| <p>発言 5</p>  | <p>医療事務の方は女性の先生が多いですので、女性の先生がいると助かります。ありがとうございます。</p>  |
| <p>内田校長</p>  | <p>今日は本当にいろんな意見ありがとうございました。今後ともいろいろご意見いただくとともに応援をお願いします。ありがとうございました。</p>   |